





## ANDROGYNOS

田中 奈津子

Gallery PARC[グランマーブルギャラリー・パルク]では、2020年1月10日(金)から26日(日)まで、田中奈津子による個展「ANDROGYNOS」を開催いたします。

2007年に京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻を修了した田中奈津子(たなか・なつこ / 福岡・1981~)は、在学中より個展やグループ展などに取り組み、近年では個展「Being series」(ギャラリー白kuro / 大阪・2019)や個展「into Being」(d3 Gallery / 北九州・2019)、「ポートレートモード:黒宮菜葉・田中奈津子」(2kw Gallery / 滋賀・2019)などを開催。2020年には3月に開催される「VOCA展2020 現代美術の展望—新しい平面の作家たち—」(上野の森美術館・東京)に出品するなど、現在までに精力的に制作・発表活動を続けています。

田中は2017年のギャラリー・パルクでの個展「きょうの壺プレミアム」において、包装紙や広告・カレンダー等を素材に、2016年12月半ばから年越しの一月に渡って毎日制作した「壺」の絵を展示しました。これは、当初は身近な日常の中で不意に得たイメージを膨らませ、それらをモチーフに絵画・版画のテクニックを組み合わせた絵画制作を続けていた田中にとって、「壺」あるいは「毎日」という制約を手がかりに、それまでの感性や感覚に強く頼る絵画制作ではなく、五感・記憶・経験・感情・体調・身体・道具・時間などなど、多くの要素を素材として自覚し、選択することで絵画に取り組む機会となりました。

また、その後の2018年の春から秋にかけて取り組んだ「Being series」は、田中がアトリエの近くの市民活動センターを借りて制作したもので、「制作の度に画材を運び込み、決められた時間の中で出来ることを探し、時間がきたら筆を止め、また全てをまとめて帰る」を何度も繰り返したものでした。この周囲の環境や状況という制約を手がかりに、そこから絵画を立ち上げるこの制作は、田中が『画材も、形式も、制作時間も、場所も外部に任せて、私はそこでできることをして、それらが結びついて絵画になればいい。』『この絵は私だけの選択によって成立したのではなく、環境の中で仕立てられたものだから。』と語るように、自身の絵画制作へのまなざしや絵画への思考を更新する機会となったといえます。

本展は田中の新たな取り組みとなる「ANDROGYNOS(両性具有)」シリーズにより構成されるものです。本シリーズ作品の制作にあたり、田中は現在まで何度もヌードクロッキーに出かけ、男女のモデルを大量に描いています。アトリエではそのクロッキーから線を抽出し、キャンバスに書き写しますが、それは1枚のクロッキーから線を抽出し終えるとキャンバスを回転させ、また新たな線を重ねるというもので、結果、1枚の絵画には何枚(4~20枚ほど)ものクロッキーからの線が重なり、その画面は次第に抽象性を帯びていきます。田中にとってこのプロセスは、そのものが目的ではなく、「見たものを描く」行為を「画面の出来事」へと転換するための「きっかけ」として機能しているように思えます。またそのプロセスを辿るうちに、男・女、具象:抽象、現実:虚構、存在と不在、線と面といった、様々な項が綯交ぜとなった画面が現れることとなり、作品は両義的ながらもひとつの存在:絵画へと自立しはじめます。

「ANDROGYNOS」シリーズに至る近年の田中の取り組みは、いくつかの制約を仮設することで制作の自由を封じるのではなく、それにより自分自身にかかる制約(環境や身体、絵の具の材質、支持体の構造、音や時間など)の存在を確かめ、認めるための手続きとして必要とされたのではないのでしょうか。また、それは同時に「描く」というとてもささやかで脆い自由を見出し、「描くこと」でそれら制約や矛盾を「絵画」に結ぶことができることを知るための契機となったのではないのでしょうか。「ANDROGYNOS」の初期作品群で構成される本展において、田中のこれまで/これからの活動を概観いただけるのでは

なお、会期中には、聞き手に真武真喜子氏(Operation Table キュレーター)をお招きしたアーティスト・トークを行いません。これにより新作「ANDROGYNOS」についてのお話とともに、近年の田中の作品の変遷やそれぞれの取り組みの関わりを一連で知ることが出来るのではないのでしょうか。



本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上【info@galleryparc.com】迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 **ANDROGYNOS**

出展作家 **田中 奈津子**  
tanaka natsuko

会 期 **2020年1月10日[金] — 1月26日[日] 11:00~19:00 月曜日休廊 / 金曜日のみ20:00まで**

関連イベント **田中 奈津子 アーティスト・トーク 1月18日[土] 17:00~18:30 予約不要・入場無料**  
聞き手: 真武 真喜子 (Operation Table キュレーター)

主 催 **ギャラリー・パルク**

料 金 **無料**

会 場 **Gallery PARC [グランマールブル ギャラリー・パルク] 〒604-8165 京都府 京都市 中京区 烏帽子屋町 502 2F~4F **MAP****

ア ク セ ス **地下鉄烏丸線「四条」駅・阪急京都線「烏丸」駅22・24番出口より徒歩7分。地下鉄烏丸線・地下鉄東西線「烏丸御池」駅より徒歩7分。室町通・六角通 北東角 室町通側入り口より2Fへ**

問い合わせ **Gallery PARC (正木・村田・岡田) 〒604-8165 京都府 京都市 中京区 烏帽子屋町 502 2F~4F**

**TEL 075-231-0706 FAX 075-231-0703 MAIL info@galleryparc.com HP www.galleryparc.com**

[Statement]

男と女、具象と抽象、現実と虚構、形あるものと形のないもの、、、異なる事物を結びつけながら変容させていく力が像を結んでいくつまりこれは「愛」の絵です。

[C.V]

田中奈津子 Tanaka Natsuko

- 1981 福岡県北九州市生まれ
- 2005 京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業
- 2007 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了

個展

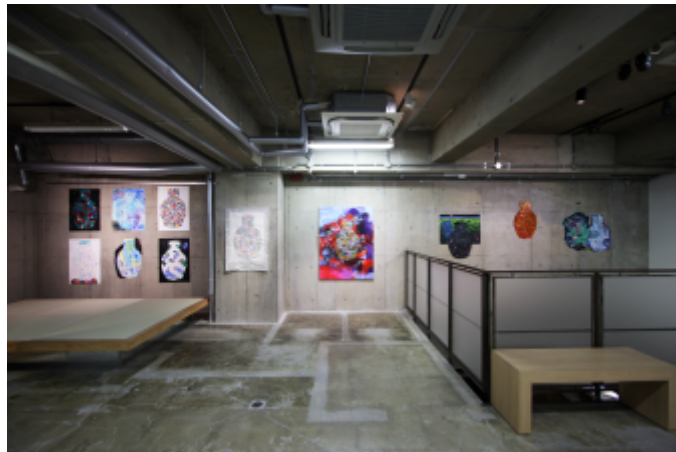
- 2002 WORLD/岡田屋本店ギャラリー(三重)
- 2004 The golden time in Cambodia/GALLERY ANTENNA(京都)
- 2005 水辺の人/GALLERY ANTENNA(京都)
- 2006 孤島群/複眼ギャラリー(大阪)
- ギャラリーDen 58(大阪)
- 2007 京都市立芸術大学作品展第三会場学内展
- 2009 私湯/MEM(大阪)
- 2011 デコレーション/アーツスペース虹(京都)
- 2012 豊かな絵/アーツスペース虹(京都)
- 2013 Fantasy for Adults/アーツスペース虹(京都)
- 2014 わたし童世界/アーツスペース虹(京都)
- 2016 繋ぐ、結ぶ、続く、絵/アーツスペース虹(京都)
- 2017 きょうの壺 プレミアム/Gallery PARC(京都)
- アブストラクト食う女/ギャラリー島田deux(兵庫)
- 2018 Open Working "Being series"/京都市岡崎いきいき市民活動センター(京都)
- 2019 Being series/ギャラリー白(大阪)
- into Being/d3 Gallery(北九州)

グループ展

- 2003 現代美術インディペンデントCASO展/海岸通ギャラリーCASO(大阪)
- 2004 ひと展/京都市立芸術大学大ギャラリー
- 日本カメラ祭 in 八木町/旧新聞配達所
- 2005 山本恵と2人展「花と人」/ボーダレスアートギャラリーNO-MA(滋賀)
- ドローイング5人展「ANOTHER STORY」/GALLERY ANTENNA(京都)
- 2006 GENSE ART EXHIBITION/建仁寺禅居庵(京都)
- 2007 作品中/galerie16(京都)
- in my room/FUKUGAN GALLERY(大阪)
- 58号室展/ギャラリーDen 58(大阪)
- ART AWARD TOKYO/行幸地下ギャラリー(東京)
- 2008 ペインティングの恋人/海岸通ギャラリーCASO、MEM(大阪)
- 2010 京都オープンスタジオ
- 2012 「あれから、そして、これから」山本俊夫、藤原康子、田中奈津子/ギャラリーモーニング(京都)
- つくって見たかったもの/CAFÉ PULPO(京都)
- 2013 「悦ばしき知覚」関口敦仁、山部泰司、松井沙都子、田中奈津子/galerie16(京都)
- 2014 つくって見たかったもののおみせ/同時代ギャラリースタジオ1928(京都)
- 2015 「掲示板アート」片淵綾香、山本恵、田中奈津子/高尾小フェス2015(京都)
- 2016 「SPECTRA」鷹木朗、田中奈津子/ギャラリー恵風(京都)
- 2018 「壺の中のダイアログ 陶と絵のあいだで」石黒紀子、田中奈津子/ギャラリー恵風(京都)
- 第1回M展/d3ギャラリー(北九州)
- 2019 「ポートレート モード」黒宮菜菜、田中奈津子/2kw Gallery(滋賀)

受賞

- 2015 マネックス証券Art in the office 2015審査員特別賞



きょうの壺 プレミアム  
会場風景  
2017年  
Gallery PARC(京都)



繋ぐ、結ぶ、続く、絵  
会場風景  
2016年  
アーツスペース虹(京都)  
撮影:Tomas Svab



into Being  
会場風景  
2019年  
d3 Gallery(北九州)



Being series  
会場風景  
2019年  
ギャラリー白(大阪)